

秋田駒ヶ岳 平成 18 年（2006 年）年報

火山活動評価：静穏な状況

地震活動は低調な状態で火山活動は静穏に経過しました。

火山情報

火山情報の発表はありませんでした。

概況

・地震活動（表 1、図 2～図 4）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・熱活動（表 2、図 5～図 8）

9 月 4～5 日、25 日に行った現地観測の結果、
女岳山頂部周辺の噴気地熱地帯の状況に変化
はなく静穏な状態でした。

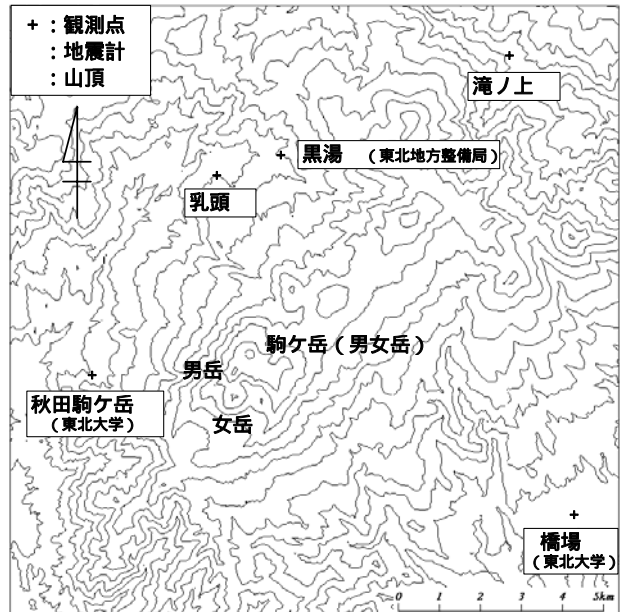


図 1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

表 1 秋田駒ヶ岳 2006 年火山性地震・微動の月回数（基準点：図 1 の秋田駒ヶ岳（東北大学））

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数	8	4	8	2	6	9	8	9	4	12	23	29
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

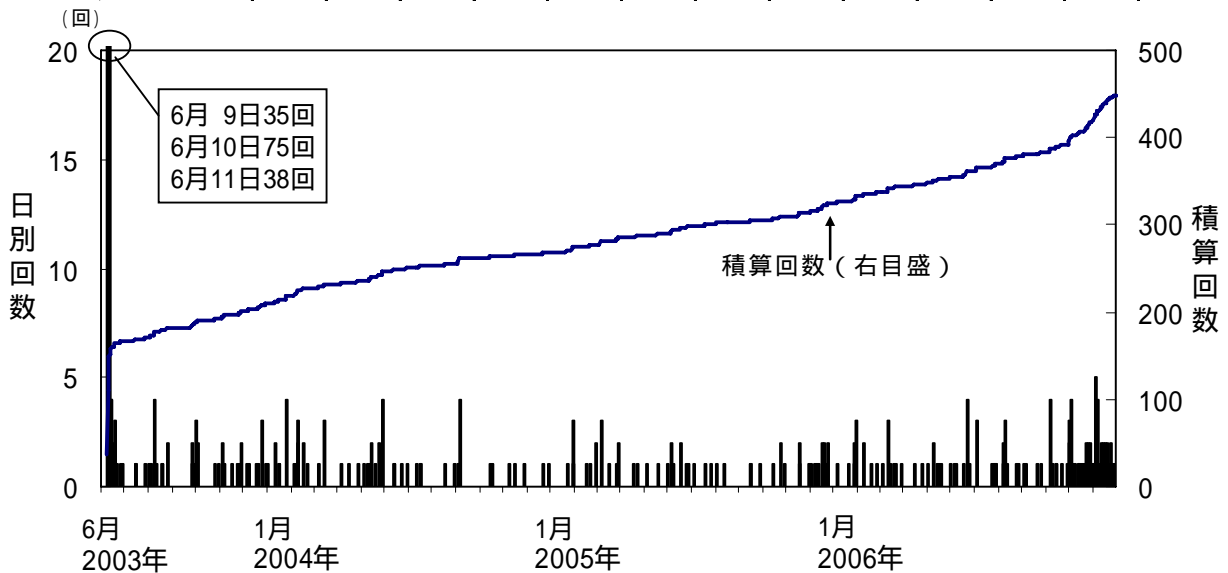


図 2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003 年 6 月 9 日～2006 年 12 月）

2003 年 6 月 9 日～7 月 31 日、2004 年 5 月 1 日～5 月 31 日、8 月 11 日以降は、秋田駒ヶ岳（東北大）の地震計による回数です。
2003 年 8 月 1 日～2004 年 4 月 30 日、2004 年 6 月 1 日～8 月 11 日の期間は水沢の地震計（気象庁：2004 年 9 月観測終了）による回数です。

資料は気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

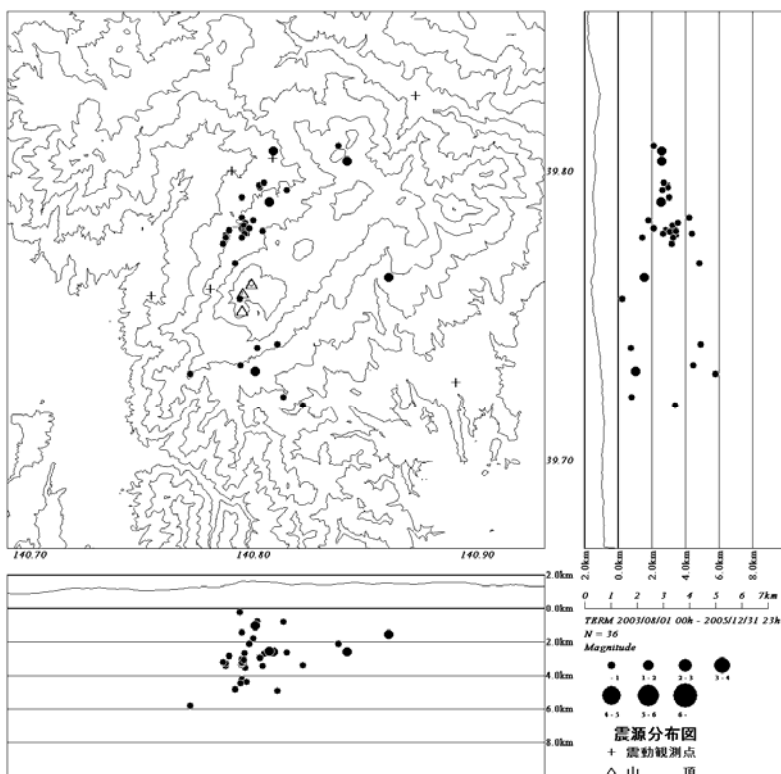


図3 秋田駒ヶ岳 震源分布図(2003年8月~2005年12月)
震源精度の良い地震のみ表示しています。

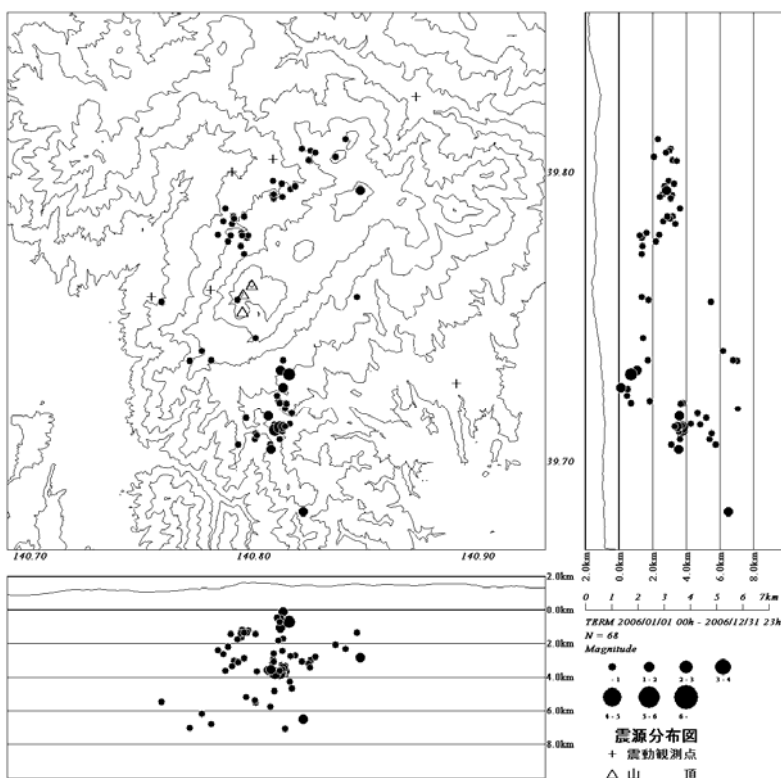


図4 秋田駒ヶ岳 震源分布図(2006年)
震源精度の良い地震のみ表示しています。

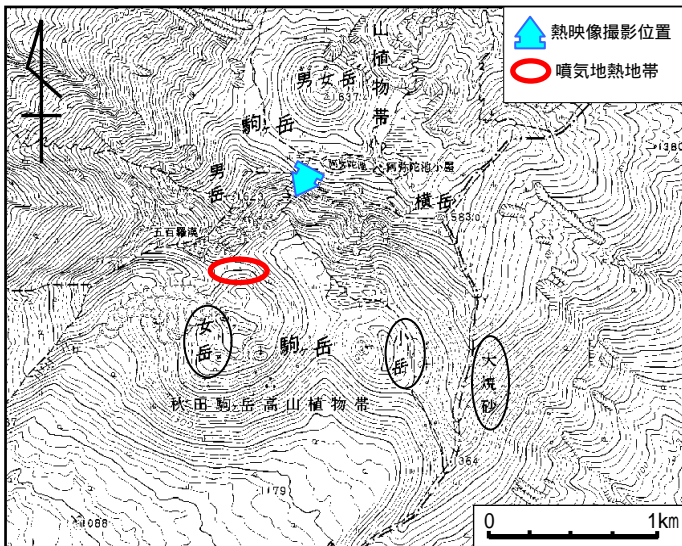
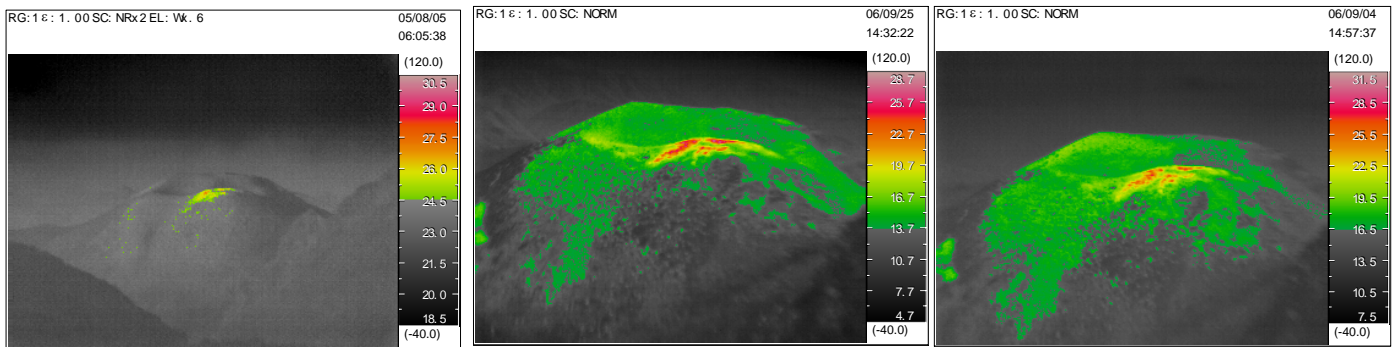


図5 秋田駒ヶ岳の地形図と熱映像撮影ポイント



図6 女岳山頂北部噴気地熱地帯の可視画像



2005.8.5 撮影(ワイドレンズ)

2006.9.5 撮影(ノーマルレンズ)

2006.9.25 撮影(ノーマルレンズ)

図7 女岳山頂北部噴気地熱地帯の熱赤外画像

9月4～5日及び25日に女岳山頂部を中心に現地観測を実施しました。熱赤外線映像装置¹⁾による地表面温度分布(図5)及びサーミスタ温度計²⁾による噴気温度、地中温度の観測結果(表2)では、昨年(2005年7月)の現地観測時と大きな変化は確認されませんでした。その他、目視による観測では植生枯れなどは確認されませんでした。

表2 女岳山頂北部の噴気・地中温度

女岳山頂北部の噴気・地熱地帯温度観測結果(深さ10～30cm)					
	H15・6	H16・9	H17・7	H18・9・5	H18・9・25
天気・気温	晴・18	曇・13	雨・15	曇・13	晴・13
噴気・地中温度	86	72	85	67	
"		70	76	70	80
"		84	81	79	84
"		83	93	93	94



図8 女岳山頂北部の噴気地熱地帯

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する機器で、熱源から離れた場所で測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器です。